

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：Jキッズプラネット鶴見保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：栗原 妙子	定員（利用人数）：70名（76名）
所在地：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-31-27	
TEL：045-570-5305	
ホームページ： <a href="https://kuwanomikai.jp/child/j-tsurumi/">https://kuwanomikai.jp/child/j-tsurumi/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	2000年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人 桑の実会			
職員数	常勤職員：15名	非常勤職員：	10名	
専門職員	保育士	17名	管理栄養士	1名
	栄養士	1名	小学校教員免許	1名
	調理師	1名		
施設・設備の概要	(居室数) 保育室4室、調理室1室、事務室1室、職員休憩室1室	(設備等) 施設はビルの4階にあり、1～3階とは遮断されていて、保育園直通的の4階までのエレベーターを使用して園内に入ります。 園の東側、南側には屋上があります。日よけのための可動式屋根もあり、夏季の直射日光対策が来ています。 0歳、1歳児クラスは同室、3歳、4歳児も同室ですが、2歳児と5歳児は独立した保育室となっています。 同ビルでは、防災センターによる管理がなされています。		

Jキッズプラネット鶴見保育園は、JR京浜東北線鶴見駅から徒歩3分、京浜急行京急鶴見駅より徒歩2分の所のビルの4階にあります。ビルは保育園のために4階だけ止まるエレベーターが設置されています。他のフロアとは独立した構造となっています。ワンフロアですが、4階に園庭があり、うんていなどの遊具もあり、眺望もよく、富士山が見えるだけでなく、東海道線を始めとしてJR線や京浜急行線など鉄道各線が多数走っていて、子どもたちが見るのを楽しみにしています。近隣には公園も多くあり、近くの鶴見川には両岸に広い土手があり、子どもたちの散歩コースとなっています。

園は2000年4月に、社会福祉法人桑の実会によって開設されました。運営法人は、埼玉県所沢市に本部があり、埼玉、東京、神奈川で保育、介護、医療の分野で事業を展開しています。横浜市では当園を含めて3園の保育園を開設しています。

定員は70名（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日7時～20時、土曜7時から18時です。

### ③理念・基本方針

- ・法人理念 「そのらしさを大切にその人らしさを求めて」
- ・保育目標 「生きる力を育みます」
  1. 気持ちの安定した子ども
  2. 積極的に他児と関わり、意欲的に遊ぶ子ども
  3. 丈夫な体をつくる
  4. 考える力・豊かな心を育てる
  5. 創造力・豊かな感性を育てる
- ・保育園のモットー  
J: 自分を大切に K: 心やさしく I: いっぱいの笑顔で D: ドーナツみたいな輪(和)を広げ  
S: すくすくみんなで共育ち

\*いろいろな子ども達がいることを理解し、認め合い、子ども同士で育つよう援助していきます。子ども達に関わる全ての大人(保護者、職員、地域の方々)と見守りその中で健やかな子どもの成長を共に喜び合っていきたいと思えます。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・体操教室・学研・スイミング・英語リトミックを外部の専門家の指導の下、カリキュラムに取り入れて子ども達が多く体験出来るようにしています。
- ・天気の良い日は園外にて体を思いっきり使って遊びます。
- ・絵本の読み聞かせは0歳児から積極的に取り入れ、絵本の貸し出しも実施。毎日借りていく子どもがたくさんいます。
- ・調理保育では味噌作りや食材に触れること、甘味・苦味・塩味・辛味・旨味を知る食育活動を行っています。プランターでつる無しインゲン、二十日大根を育てています。
- ・製作活動では子ども自身が材料を選べるようにしています。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月13日(契約日)～2022年12月8日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	3回(2015年度)

### ⑥総評

#### ◆特長や今後期待される点

##### 【特長】

##### ○そのらしさを大切にした保育を実践しています

職員は子どもたち一人ひとりの状態を把握していて、日々の状況も受け入れ時にとらえるようにしています。子どもへの対応は細やかで、まず受け止め、受け入れ、子どもの気持ちに共感します。子どもたちは安心して自分の気持ちを表現しています。

他の子どもとトラブルがあり泣いている子どもがいると、保育士は両者が自分の言い分・気持ちを相手に伝えるように支援します。保育士は子どもの気持ちを代弁してあげて抱きしめ、次第に子どもの気持ちはおさまっていきます。保育士たちは安全基地のような存在でもあり、保育士との信頼関係のもと、子どもたちは自由に自分のままに、のびのびと好きな遊びに集中して過ごしています。

##### ○子どもたちの自発的な力を信じています

全職員が、必要以上に支援しないことを自覚し、様々な場面で待ちの姿勢をとっています。乳児の着替えの場面でも、どうしても必要な部分だけを手伝い、じっと待って子どもが自分でできたという満足感を味わえるようにしています。子どもたちを、保育の流れに合わせて統制したり無理強いすることはありません。朝の集会などで大部分の子どもは集中していますが、歌わない子ども、集中せずに動き回る子どもがいても見守ります。その子どもも、時々集会を見ていて、紙芝居などが始まり面白そうだと思うと戻ってきます。

保育の様々な場面で命令語・否定語、禁止用語は使わず、「○○しましょう」「○○してください」など丁寧な対応をしています。公園で遊んで帰る時になっても、まだ何回も滑り台に挑戦したい乳児に対して、子どもを抱き上げて、園に戻って美味しい給食を食べましょうなどと、子どもの納得を得ていました。

### 【今後期待される点】

#### ○中期計画と単年度計画の整合性と数値目標や具体的な成果等を設定することが期待されます

園は2021年度から2024年度までの3カ年の中期経営計画を策定しています。ここでは、重点課題を、保育サービスの質の向上から始まって、地域との交流連携まで9つの重点課題を設定しています。それぞれの重点課題について、具体的な取り組みを数項目ずつ記載し、全部で34項目を設定しています。ただし、どのような方法で各年度で具体的に組み込んでいくかが明確ではありません。そのため、その計画の進捗状況の評価できる構造とはなっていません。数値目標や具体的な成果等を設定し、実施状況の評価が行えることで、毎年見直しができる構造としていくことが期待されます。さらに、単年度事業計画は中長期計画を反映して策定していくことが今後の課題となります。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して、多くの話し合いの場を持つことで、職員一人一人が保育内容、保育環境について見直しをすることができました。又、今まで運営に関してもあまり知ることのなかった職員も、この学びの機会を得て、法人として行なっていること、園とし実践していることを改め知ることもあり、多くの学びとなりました。

実地調査当日は職員も緊張していましたが、今まで行なってきたこと、改めて皆で学んだ事で自信を持って保育を見ていただき、子どもたち一人ひとりに丁寧に寄り添うことで子ども達が安心して自分の気持ちを表現出来る保育を褒めていただくことが出来、職員の励みとなりました。

コロナ禍であることを理由にせず、少しずつ形を変えながらも、出来る事を考えて保育をしていく事で、子ども達の成長を保護者の皆様と共に育む場所であり続けたいと思っています。

今後の課題として中期経営計画の成果を把握するための具体的な数値目標や成果を評価できる構造の見直しを行なっていく。地域交流の場も様々な機関と連携を取りながら、少しずつ再開出来るよう職員間で話し合いながら工夫をしていきたい。

評価を頂いて終わりではなく、引き続き全職員でさらなる質の向上に努めていきたいと思っています。

Jキッズプラネット鶴見保育園

園長 栗原 妙子

リーダー 井上 昌代・白川 貴絵

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり